

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第7章 保健・医療・福祉をつなぐしくみづくりの推進

第4節 リハビリテーション

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対する平成26年度の実績

(1) リハビリテーション人材の養成及び専門相談の実施	
	→神奈川県リハビリテーション支援センターに委託し、ホームページによる地域リハビリテーションに関する情報の提供、支援センタースタッフによる専門相談、かながわ地域リハビリテーション・ケアフォーラムや地域リハビリテーション推進研修、地域リハビリテーション推進モデル事業を実施した。 →神奈川県リハビリテーション支援センターが、平成21～22年の綾瀬市、平成23～24年の秦野市、平成25～26年の足柄上郡1市5町で行った一連のモデル事業の総括として6年間の事業報告書を作成した。
(2) 関係機関の連携	
	→平成27年3月に神奈川県リハビリテーション協議会を開催し、地域リハビリテーションの現状及び課題、県及び関係団体の取組み、神奈川県地域リハビリテーション連携指針の改定等について議論し、多職種の関係団体の委員間で情報共有を行った。
(3) 予防的リハビリテーションの推進	
	→介護予防事業や要支援者に対する通所、訪問リハビリテーションを実施した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県			出典等
				H24年度	H25年度	H26年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) リハビリテーション人材の養成及び専門相談の実施

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	神奈川県リハビリテーション支援センターにより、地域リハビリテーションに関する情報の提供、専門相談、人材育成のための研修などが実施され、地域リハビリテーション体制の充実が図られた。 また、3地域の6年間のモデル事業について事業報告書を作成したことにより、各地域の成果や課題、各地域共通の今後の課題等が取りまとめられた。
評価理由	地域リハビリテーションに係る人材養成や専門相談等の取組みを着実に推進しており、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	これまで実施してきたリハビリテーション人材養成、専門相談、モデル事業等について、成果や課題を整理し、今後の地域リハビリテーションの方策を検討し実施していく。

(2) 関係機関の連携

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	平成 27 年 3 月開催の神奈川県リハビリテーション協議会において、地域リハビリテーションの現状及び課題、県及び関係団体の取組み等の情報を多職種の関係団体の委員間で共有した。また神奈川県地域リハビリテーション連携指針の改定について議論を行った。
評価理由	関係機関における情報共有は神奈川県リハビリテーション協議会において推進しているものの、具体的な連携方法についての議論についてはやや進捗が遅れている。
今後の取組みの方向性	引き続き神奈川県リハビリテーション協議会を開催し、関係機関の情報共有を進めるとともに、神奈川県地域リハビリテーション連携指針の改定について更に議論を進めていく。

(3) 予防的リハビリテーションの推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	市町村における介護予防事業の取組みを支援するとともに、事業所による要支援者に対する通所、訪問リハビリテーションも着実に実施された。
評価理由	地域における予防的リハビリテーションの取組みは定着しつつあり、比較的順調に進捗している。

今後の取り組み の方向性	H27 年度以降、市町村において、リハビリテーション専門職等の定期的な関与 による介護予防の機能強化が順次可能になることから、その普及を図る。
-----------------	--

4 総合評価

評価	評価理由
B	リハビリテーション関係機関の具体的な連携については議論が遅れているもの の、リハビリテーション人材養成や専門相談、予防的リハビリテーションの推進 については課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--